※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　公民科

教科	公民科	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	公共（実教出版）						
副教材等	公共　マイノート（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎・基本が丁寧に記述されており，身近な題材を扱うことによって，自らの問題として現代社会の諸課題をとらえる内容になっている。時事的な話題や実生活や社会で役立つ知識，Q&A 形式の理論解説など，各種コラムにおける記述に工夫がなされており、対話形式で課題解決学習を追体験できる「Active」によって，主体的・対話的で深い学びを効果的に実践できる。節内で学習した内容をもとにした課題例として「Try」，思考の参考となる意見として「Opinion」を設けており，思考力・判断力・表現力の育成のほか，探究学習の教材としても使用できる。探究につながる「問い」が段階的に設定されているおり，日々の学習から違和感なく探究活動に接続できる。″

２　学習の到達目標

①考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②現実社会の諸課題の解決に向けて，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③よりよい社会の実現を視野に,現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに,各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し，現実社会の諸課題に関わる諸資料から，自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し，読み取り，まとめる技能を身に付けている。	・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。	・よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，多様な契約及び消費者の権利と責任，職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	公共の扉	1章:社会を作る私たち 2章:人間としてよく生きる 3章:他者とともに生きる 4章:民主社会の倫理 5章:民主国家における基本原理	a: 自らの体験などを振り返ることを通して，自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b: 倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。		○	○
	よりよい社会の形成に参加する私たち	①現代の民主政治と日本国憲法 1章:日本国憲法の基本的性格	a: 法や規範の意義及び役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，法や規範の意義及び役割，我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	

※令和４年度以降入学生用

2	よりよい社会の形成に参加する私たち	①現代の民主政治と日本国憲法 2章:日本の政治機構と政治参加	a: 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，司法参加の意義，政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		○	○
		②現代の経済社会と国民生活 1章:現代の経済社会 2章:日本経済の特質と国民生活	a: ・雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b: 資源の効率的な配分について，効率性と公平性の観点から多面的に考察し，資本主義経済の成立以降，経済社会がどのように展開していったか，政府の役割の変化と関連させて考察している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○

※令和４年度以降入学生用

3		③国際社会と人類の課題 1章:国際政治の動向と課題 2章:国際経済の動向と課題	a: 国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解している。 b: 国際政治や国際法はどのようなものなのか，領土問題とはどのようなものか，主権国家の権利とはどのようなものかなど，協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に，多面的・多角的な考察や深い理解を通して，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度